令和三年度　美夫君志会　全国大会　御案内

今年度はコロナ禍を勘案して「会場」と「オンライン（Ｚｏｏｍ）」を併用して、左記のように実施します。感染防止のため（Ｚｏｏｍに参加者制限あり）、会員のみの参加とします。同封のはがきにて、六月二十八日（月）までにお申し込みください。同様の理由で懇親会は中止とします。

なお必要な連絡、及び大会当日の情報等は、本会ホームページ右上の「臨時掲示板」にアップする予定です。日程が近づきましたら、ご確認ください。本件についての問い合わせは事務局へのメールのみとします。中京大学への電話等でのお問い合わせには対応できませんので、ご了解ください。

一、招待研究発表会

七月三日(土)　午後一時三十分～午後五時十分
中京大学・名古屋校舎【センタービル六階　〇六〇三教室】

開会の辞・学会挨拶　美夫君志会会長　菊川恵三
挨　拶　中京大学学長　梅村清英
母に贈る　滋賀大学　井ノ口史
―大伴坂上郎女の「尼理願の死去を悲嘆して作る歌」―
木簡目線で万葉集を覗く　奈良文化財研究所　馬場基
防人歌と戦争下におけるその受容　青山学院大学　小松靖彦

二、研究発表会

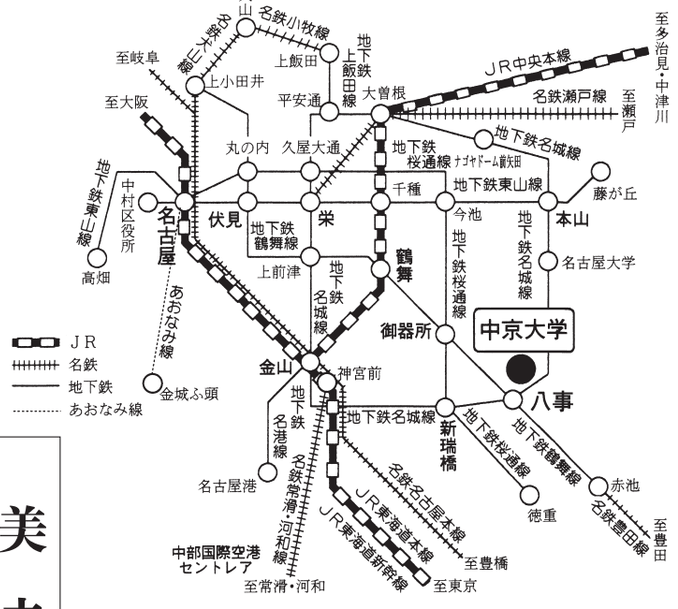
七月四日(日)　午前十時～午後四時三十分
中京大学・名古屋校舎【センタービル六階　〇六〇三教室】

【午前の部】
柿本人麻呂歌集の歌に対する新研究　上野正彦
―大伴家持らの創作を探る―
仙覚『萬葉集註釈』の引用資料　皇學館大学大学院博士前期課程　池上遥平
―字書の場合―

【午後の部】
正倉院文書に見える「難波国」の性質　関西大学東洋学術研究所非常勤研究員　小田芳寿
日並皇子挽歌の「神分　分之時」　國學院大學　土佐秀里
「住吉の波豆麻の君が馬乗衣」拙解　國學院大學　上野誠
―『万葉集』巻七の一二七三―
閉会の辞　大会担当理事　井上さやか

※発表資料を『資料集』として冊子に致します。当日受付にて、お求めの上《定価千円》、ご利用下さい。
※出張懇請書入用の方は、八十四円切手同封の上、美夫君志会宛に。

※中京大学（会場）の所在
（地下鉄「八事」⑤番出口より）



JR利用（地下鉄乗換）
・名古屋（東海道本線岡崎・豊橋行）4分→金山
・名古屋（中央本線多治見・中津川行）6分→鶴舞

地下鉄利用（飛行機で来名の方は中部国際空港（セントレア）から名鉄で金山）
・金山（名城線左回り）16分→八事
・鶴舞（鶴舞線赤池行・名鉄豊田行）10分→八事
・名古屋←2分（東山線藤が丘行）伏見（鶴舞線赤池行・名鉄豊田行）15分→八事
・名古屋←4分（東山線藤が丘行）栄（名城線左回り）23分→八事
・名古屋←14分（東山線藤が丘行）本山（名城線右回り）5分→八事
・名古屋←14分（桜通線徳重行）御器所（鶴舞線赤池行・名鉄豊田行）6分→八事
・名古屋←20分（桜通線徳重行）新瑞橋（名城線左回り）6分→八事

美夫君志会
〒466-8666
名古屋市昭和区八事本町一〇一―二
中京大学文学部内
E-mail:mifukushi@ml.chukyo-u.ac.jp